

技なしのストライカー

山田タルタニック

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したもので  
す。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を  
超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

イナイレ世界でも死んでしまった主人公！

次はイナイレGOで無双??

技なしのストライカーいけるのか!?

# 目 次

技なしのストライカー再び  
挑戦！そして再会！

7 1



# 技なしのストライカー再び

俺達イナズマジヤパンはアフリカエリア代表チーム  
コトアールのリトルギガンと戦い勝利した

だが

バタ

??? 「あ、れ？立てねえ、体が重い、」

円堂 「皆大変だ！？が倒れた！」

鬼道 「監督と医療班に伝えろ！」

??? 「へへ、皆うるせえよ特に円堂W」

駄目だ笑えない

久遠 「おい!!!俺が分かるか！」

??? 「久遠監督、、俺あんたを信じてよかつた俺らをこんなにも強くしちまうなんてな  
マジで感謝してるぜ」

## 2 技なしのストライカー再び

?? 「円堂 鬼道 あとついでに豪炎寺またいつか会おうぜ  
俺のヒーロー」

そして俺は意識を失った

神「久しぶりだな神山輝 転生後にまた死んでしまうとは」

神山「じいさん、ほんと良い第二の人生だったよ」

神「何言つてるんじゃ！まともに必殺技も使わずに」

神「イナイレと言えば必殺技が醍醐味じやろが！」

神山「へへ、すまねえな で？俺は天国に行くのか？」

神「ムカついたからイナイレGOにでも行つとれえ！」

神山「え？何つて言つたじいさ／

そんな俺の言葉は遮られた

神山「ここは？何処だ？雷門中学？なんだ神様戻したのか？」

神山「とりあえず円堂でも呼ぶかどうせあいつならここでサッカーしてるだろ」

神山「君！円堂守を呼んできてくれないかい？」

??? 「円堂監督ですか？わかりました！今呼んできます」

神山「監督？ アイツここで監督やつてんのか高校生なのに」  
そうこの時の神山の脳内には

神山 side

俺が意識を無くして神の所にいたし

たしか大会の後は卒業式だから

俺らは今高校生ってところかな？

??? side

俺は松風天馬！

入部テストを合格してサッカー部に入つて  
ファイフスセクターという存在を知つた

??? 「君！ 円堂守を呼んできてくれないかい？」

円堂監督の知り合いかな？

その割には身長は俺らと大して変わらないな  
とりあえず円堂監督を呼ばう

天馬「監督！ あの人気が呼んでます。 監督の知り合いでですか？」

円堂 「わかった」

円堂 「アйツは、神山！ でもあるあと／＼

神山 「よう！ 円堂！ お前身長高くなつたなあ！」

円堂 「神山なのか、？？」

神山 「そうに決まつてんだろ」

神山 「つてなんじやあの墓」

円堂 「お前はあのあと心筋梗塞で死んだんだ」

神山 「てことはあの墓は俺の墓？」

円堂 「そうだ、理事長に俺らが志願してやつてもらつた

そう神山には元々親はいなかつた

円堂 「まあちやんとした墓は他にある」

神山 「マジかよ、まあ良い！ 皆元気にしてるか？」

円堂 「ああ！ そうだ神山久々にサッカーをやろうぜ！」

神山 「お前監督だろ？ そんなことして良いのかよ？」

円堂 「お前またサッカー部に入れよ！」

神山 「そうゆうことかいぜ！ やろうサッカーを！」

グランド

神山「すげー皆練習してるそれに校舎も色々変わったなー!」

神山「そういえば久遠監督は?」

円堂「昨日俺と交代形式で辞めていつて今はレジスタンスにいる」

神山「何かあつたのか?」

円堂は神山にファイフスセクターの事を伝える

神山「なんだよそれすげーイラつく奴だな点が最初から決まってるなんてよ」

円堂「ああ!勝利の女神はどうちに微笑むのかわからないのにな」

神山「なんか円堂らしいや」

ザワザワ

神童「監督誰ですかそいつ?」

神山「一様先輩なんだけどなあ?」

円堂「神山だ」

神山「元イナズマジャパンの神山輝だよろしく!」

皆「ええええ!」

神山「よ!音無も久しぶり!」

## 6 技なしのストライカー再び

音無 「貴方は死んだはずじゃ、！」

神山 「こんな言い方はあんまねえけど天国から戻ってきたとしか  
言いようがねえぜ！」

神山／円堂 「サツカーやろうぜ！」

# 挑戦！そして再会！

神山「そろそろやらせてもらうぞ！」

神童「はい！これより入部テストを始めます」  
内容は

ドリブルをして前線まで出て  
シュートを決めるだけだつた

神山「OK 了解！」

神童「初め！」

ピー!!

マネージャーのホイッスルで始まる

天馬「早い！これが世界一の強さ、」

神山「スキあり！」

車田「なに！」

軽々しくDFを抜いていく

神山「いくぞ！」

ボールは勢いよく飛んでいった

三国「!!! バーニングキャッチ!」

神童「三国さんが、押されている!」

三国「なんとか受け止めたぞ! いけ神童!」

神童「神山さん、本気でいかせてもらいます! はあーあ!

奏者マエストロ !」

神山「なんじやありや、円堂のマジンザハンドの魔神さんみてえな奴だな?」

神山「でも先輩が後輩に負けるのは違うよな!」

神山「おりやあ!!!!」

神童「な! 化身を使ってでもボールを取られるだと!」

神山「今度こそやらせてもらうぜ!」

そう言うと神山は空中にいた

神山「オーバヘッドだ!」

三国「く、！太陽と重なつて見えない！」

神山「くらえ!」

三国「く! バーニングキャッチ!」

三国「うわあ!」

三国が吹き飛ばされる

神山「立てるか？」

手を差し伸べる

三国「良いシユートでした！」

神山「そうか！ありがとな」

神童「点が入り ドリブルも良かつた！」

満場一致で神山先輩合格です。」

神山「おっしゃ！」

その後、：

雷雷軒

神山「円堂お前結婚したんだな！おめでとう」

円堂「ああ、ありがとう！色々な人から祝つてもらつて嬉しいよ」

飛鷹「お久しぶりです。」

神山「飛鷹は響監督から雷雷軒継いだのか」

飛鷹「はい！」

そんな話をしながら時は過ぎていく

神山「でもよ、俺の肉体はまだ中3だからいつかはこの世界の年に

合わせて欲しいぜ」

神山「そういえば俺の寝床は何処なんだよお！」

円堂「俺ん家くるか？」

神山「夫婦仲に割り込みはよくねえ」

神山「俺はそろそろ帰らせていただくよ」

神山「飛鷹お会計頼む」

飛鷹「うす！ありがとうございました！」

神山「また来るよ」

神山「さてさて俺の寝床は何処にあるんだあ！河川敷でも行くか」

河川敷

神山「あれって稻妻KFCかなまだやつてんだな：」

???「すみませーんボール取つてもらつて良いですか！」

神山「わかった！」

下まで降りていく

???「君、一回ゴールに入れてみろ」

神山「え？」

???「だからゴールにシュートしろつて」

明らかにコーチに見える

神山「わかりました」

神山は軽くドリブルをしてからいつもオーバヘッドをする  
ゴールネットは激しく揺れる

??? 「そのシユートの仕方にその見た目お前神山に憧れてるのか？」

いや、本人です、てかお前こそ絶対に半田だろ、」

神山「何言つてんだ半田俺は神山輝に決まつてんだろ。」

半田「嘘だろ、」

神山「さつき飛鷹と円堂にあつてきたぞ」

??? 「どうしたの？」

半田「こいつさプレーと見た目は神山に似てるんだよね」

??? 「確かに、神山ちゃんに似てるかも、」

ちゃん？俺をちゃん付けで呼ぶやつは一人しかいない

神山「お前如月まこだろ」

まこ「なんで知ってるの？」

神山「そりや俺が正真正銘神山輝だからだ」

まこ「嘘言わないでよ、神山ちゃんは心筋梗塞で亡くなつてるんだよ？」

????? 「面白くなつてきたなあ」

「ああ、少しだけ力を貸してやるか」

神山の身体が光る

煙がでてくる、、

半田「眩しい！」

神山「ヤベエええええええ！」

そして眠りが晴れる

そこにいたのは、、